

2023年2月6日  
株式会社毎日放送

各位

「映像'22 ラジオにできること～FM ひらかた閉局までの日々～」  
JNNネットワーク協議会賞＜地域・環境 番組＞部門 奨励賞

JNN 加盟の全国 28 局が 2022 年に制作した番組や放送活動のうち、優れたものに贈られる「JNN ネットワーク協議会賞」で、下記当社の作品が、第 47 回 JNN ネットワーク協議会賞 ＜地域・環境 番組＞部門の「奨励賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

当社作品は、以下の通りです。

作品名；「映像'22 ラジオにできること～FM ひらかた閉局までの日々～」  
2022 年 4 月 24 日(日) 24 時 50 分～ 25 時 50 分放送

ディレクター：伊佐治 整(毎日放送報道情報局番組センター)  
カメラ：樋江井 亮(毎日放送報道情報局映像取材部)  
プロデューサー:奥田 雅治(毎日放送報道情報局番組センター)

作品概要；

2022 年 2 月末、小さなラジオ局が閉局した。大阪府枚方市の「FM ひらかた」。阪神・淡路大震災でマスメディアがきめ細かい地域情報をとりあげられなかったことを教訓に、「FM ひらかた」は 1997 年に開局した。台風や大阪北部地震など地域の災害対応はもちろん、東日本大震災の被災地各局と積極的に交流を続け、コミュニティ局の「元気印」とされてきた。

一方、3 セクで収入面では枚方市への依存度が高かった。2015 年に現市長が就任し、「FM ひらかた」に関する市民アンケートの結果を受けて、「SNS 隆盛の世に聴取率 4%のラジオは不要」と結論付けられ年間 5000 万円の委託費を切られ万事休した。同じアンケートで 67%が「災害時は、FM ひらかたによる情報発信が必要」と回答があったにもかかわらず…。

実働 5 人の「FM ひらかた」で開局から勤める石元彩プロデューサーは、阪神・淡路大震災の際、兵庫県西宮市にある短大に通っていたが、枚方の自宅からボランティア活動などに踏み出せなかったことを悔やんできた。だからこそ、東日本大震災の被災地との交流や震災特別番組の制作に奮闘してきた。閉局については、「南海トラフ地震など大災害の発生も予想される中、ラジオの存在意義はまだまだあるのに」と無念を隠せない。

コロナにも翻弄されながらのラスト 1 か月。大勢のリスナーに見守られながら、「FM ひらかた」はフィナーレの日を迎える。

以上  
本件問い合わせ先: 広報部